

当院での新型コロナウイルス感染予防のための具体的対策について

慈友クリニックでは、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を徹底する為、厚生労働省ほか関係省庁の通知、関連学会の見解等を踏まえ、健診実施機関として適切な感染症対策を行い受診環境を確保いたします。

1 施設受診環境の確保

- 受診者、職員相互安全確保の為、健診施設内ではマスク（サージカルマスク、布マスク等）の着用を原則とします。
- 健診前には、速やかに問診、体温測定を行い健康状態を確認します。
- 発熱があるなど当日に受診不適正と判断した場合は、後日体調が回復してからの受診をご案内します。
- 「密集・密接・密閉」を避けるため、受診者間の距離を確保するとともに、健診時間を可能な限り短縮します。
- 受診者と職員が対面で話す時は、適切な距離を確保するように配慮します。
- 室内の換気は、1時間に2回以上定期的に窓やドアを開けていきます。
- 受診者の「密集」を避けるため、1日の予約者数、予約時間を調節します。
- アルコール消毒液等により入念に手指の消毒を遂行します。
- ロッカールーム、トイレ、ドアノブ階段手摺、エレベーター呼びボタン・内部ボタン等受診者が触れる箇所を定期的にアルコール消毒又は次亜塩素酸ナトリウム消毒液により清拭し環境衛生に努めます。

2 健診施設職員の感染源とならないための配慮

- 職員は毎朝出勤前に体温測定し、発熱などの症状を認めるときには医療機関を受診します。異常を認めた場合は出勤を停止します。
- すべての職員はマスクを着用するとともに、手洗い又はアルコール消毒液等による手指消毒を徹底して行います。
- 職員休憩室やロッカー室の定期的な消毒を行い、職員間で感染が起こらないように努めます。
- 職員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、管理者は保健所などの指示に基づき、直ちに万全の対応を行います。
- 新型コロナウイルス感染症に罹患し、治療した職員は、保健所などの指導に基づき、出勤を再開します。

3 緊急時の対応

- 胸部エックス線検査で新型コロナウイルス肺炎を疑う所見が認められた場合は、直ちに当該受診者に説明し、その後の健診を中止します。
- 当該受診者の移動経路について接触部位の消毒を直ちに行い、関与した職員の接触状況を調査します。
- 当該受診者と接触した可能性のある職員は一旦、自宅待機措置とし、当該受診者が新型コロナウイルス肺炎の可能性が低いと判断された場合は復職し、新型コロナウイルス感染症と確認された場合は、保健所などの指示に基づき対応します。

4 健康診断項目ごとの留意事項

- 診察の前後で必ずアルコール消毒液などで手指消毒を励行します。
- 聴診器、体温計について受診者毎にアルコール消毒液又は次亜塩素酸ナトリウム消毒液で清拭します。
- 受診者が使用する機器に関して、手や顔等が触れる箇所を検査毎にアルコール消毒液又は次亜塩素酸ナトリウム消毒液で清拭します。

上記対策は対策制定時（5月27日）の知見を踏まえて作成したものであり、新たな知見等が得られた場合は改訂致します。

2020年6月1日付

慈友クリニック 健診センター